

日本の言葉

第1回：言語と人間

鳥取短期大学

国際文化交流学科

教授 岡野幸夫（おかの ゆきお）

この授業の目的

- 人間にとって言語とは何かを考える
- 言語について深く考える
 - 思考力、判断力、表現力を磨く
- 言語と文化のかかわりについて考える
 - 今後の社会の担い手としての自覚を持つ

(参考) 国語に関する世論調査 (文化庁)

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoronchosa/index.html

第1回 言語と人間

- 今回の内容

- ① 人間の言語の特質

- ② 言語の機能

- ③ サピア・ウォーフ仮説

①人間の言語の特質

- 二重分節性

文（無限） ⇔ 単語 ⇔ 単音（有限）

※有限の要素を組み合わせることで無限の可能性が広がる

(例) 文：犬も歩けば棒に当たる。

単語：いぬ も あるけ ば ぼう に あたる

単音：i n u m o a r u k e b a b o : n i a t a r u

- 人間以外の動物の「言語」には見られない特徴

①人間の言語の特質

- 恣意性（言語記号の恣意性）

フランスの言語学者アンドレ・マルティネ（1908-1999）が指摘

- 「表すもの（能記）」と「表されるもの（所記）」

能記（≡形態）と所記（≡意味）が結びついたもの = 「記号」

（例）信号の「赤」 = 「止まれ」という意味

イヌ = ワンワンと吠える動物 / 人に良くなつき、飼われる

- 「記号の恣意性」 = 能記と所記の結びつきには必然性がないこと

①人間の言語の特質

- 「言語記号の恣意性」の例外？

オノマトペ（擬声語・擬態語） →やはり恣意性は入り込んでいる

エチオピア語「レセレセ」「レメレメ」

→ 日本人にはイメージできない

※レセレセ＝青々とした／レメレメ＝ふわふわ

「ニワトリの鳴き声」を表す言葉

→ 言語によって（似ているが）異なる

→ 擬声語は「ものまね」ではない

①人間の言語の特質

- 線条性

時間軸に沿って現れ出てくる

発音器官（喉、口腔、鼻腔）の構造上、必然的な性質

→ 複数の音を同時に出すことができない（困難）

（参考）ホーミー（モンゴルなどに伝わる特殊な歌唱法）

※YouTubeなどで検索して聴いてみましょう。超絶技巧です！

②言語の機能

- コミュニケーション

ドイツの心理学者カール・ビューラー（1879-1963）が
「オルガノン・モデル」としてモデル化

※「オルガノン」はギリシア語で「道具」の意

- 思考・認識

人間は、言語によって考え、認識する

- 美的機能、遊戯的機能

詩歌、言葉遊び

②言語の機能

- 人間以外の動物で言語を使うものがあるか？
- 2つの視点
 - (1) 動物は人間の言語を使えるか？
 - (2) その動物に固有の言語があるか？

②言語の機能

(1) 動物は人間の言語を使えるか？

- ・ 類人猿

チンパンジー（音声言語、手話言語、図形言語）

ゴリラ、オランウータン（手話言語）

ボノボ（図形言語、英語《聞き取り》）

- ・ イルカ（手旗信号）

- ・ ヨウム（オウムの一種）（音声言語）



②言語の機能

(2) その動物に固有の言語があるか？

- ・フェロモン（ガ、ゴキブリ、アリなど）
- ・ディスプレイ（特別な意味を持つ動作を行う）
 - シオマネキ（カニの仲間）の雄のハサミの動き
 - ホタルの光の明滅パターン
 - ミツバチのダンス（花蜜の方角と距離をダンスで表現）
- ・音声
 - 鳥のさえずり
 - ベルベットモンキーの対捕食者警報音声（ネコ科動物、猛禽類、ヘビ類）



③サピア・ウォーフ仮説

- エドワード・サピアとベンジャミン・リー・ウォーフ
(1884-1939) (1897-1941)

- 言語相対説

さまざまな事物に名前を付けて区別する仕方は言語によって異なり（相対的）、必ずこうだと決まっているわけではない、とする考え方。

（例）エスキモー語：降っている雪、地上に積もっている雪、氷のように固くなった雪、溶けかけの雪、を違う単語で表す

⇔ アステカ語：「雪・寒さ・氷」のすべてを1単語で表す

（例）家畜と食肉を別の単語で表す

③ サピア・ウォーフ仮説

- 言語決定説

人間のものの見方は、用いている言語によって枠にはめられ、決められてしまう（決定的）、とする考え方。

呼び名が違うと、同じものが別のものに思えてくる

（例）ピーナツ ⇔ 落花生

- 言語の発生と文化の関係

表したい物事（所記） → 対応する言語形式（能記）

いったん言語が発生すると、上記の両面が表れてくる

第1回 言語と人間

- まとめ

- ①人間の言語の特質

- ②言語の機能

- ③サピア・ウォーフ仮説

- 参考文献

- エヴァ・メイヤー著、安部恵子訳『言葉を使う動物たち』

- 柏書房、2020年